

2022年度 事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

◆ 概況

2022年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大が継続していましたが、木材・合板博物館は、社会情勢等を勘案し、2021年度とは異なり、検温・消毒・マスク着用等を含めた政府推奨の防止対策を講じるによりコロナ以前のように開館致しました。また、開館と同時に中止をしていました各種イベント等も再開し、コロナ以前と同様に盛況な状況を取り戻しました。

また、講習会等の開催は、コロナの流行を通して一般化しました、ウェブを用いてオンラインで実施することを最優先とし、サービス提供に積極的に取り組む運営を実施してまいりました。

今後も新型コロナウイルスに関しては、社会情勢等を勘案し、適宜、ご来館者様の安全を第一に対処してまいる所存です。

◆ 賛助会員数 (2023年3月31日現在)

法人会員 204団体、345口 (前期比 3団体減、4口減)

個人会員 プレミアム会員 18名、学生会員 1名 合計 19名 (前期比 5名減)

◆ 来館者数 (2022年4月～2023年3月)

9,724名 [大人 5,801名 子供 3,923名]

(前期比 7,778名増 [大人 4,008名増 子供 3,770名増])

※ 累計来館者数 (2007年10月～2023年3月)

148,300名 [大人 111,456名 子供 36,844名]

1. 公益目的事業

(1) 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

1F 企業展示コーナー (株)LIXIL様、吉野石膏(株)様

3F 映像「木場の歴史」のリニューアル、及び当時の木場の地図を新設

森のはたらき (壁掛けモニター新設)

材鑑リニューアル

4F 企画展示「木と合板とSDGs」

展示「のぞいてみよう木の世界」(簡易な顕微鏡で木の小口や葉っぱの葉脈観察)

カプセルトイ販売機 新設

3,4F 各フロアマップ/いつでも工作体験キャプション 更新

(2) 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業

ア 季刊誌等での情報発信

① 定期情報誌「PLY」(年4回)

第21号: 巻頭インタビュー 古材日和グループ 塚田浩之氏・濱本敦子氏

- 木アラカルト 森林総合研究所 戸川英二氏
第 22 号：巻頭インタビュー 東京ボード株式会社 代表取締役社長 井上弘之氏
木アラカルト 森林総合研究所 加賀谷悦子氏
第 23 号：巻頭インタビュー 株式会社長谷川萬治商店
代表取締役執行役員社長 長谷川泰治氏
木アラカルト 森林総合研究所 吉田貴紘氏
第 24 号：巻頭インタビュー 株式会社キーテック 代表取締役社長 中西宏一氏
木アラカルト 森林総合研究所 井道裕史氏

② 博物館の広報・PR 活動等

- ・テレビ、ラジオ、Web 等
江東ワイドスクエア(ケーブルテレビ)、artscape(DNP Museum Information Japan)、
じゃらんニュース「東京の博物館 20 選」、農水省 YouTube ばすまふ、ママスキー、コ
コフル、ウォーカープラス
- ・紙媒体
野営道具自作読本、東京観光情報センター、日刊木材新聞(ウッドマスター講習会
他)、公募ガイド、林政ニュース、フォトコン
- ・展示会への出展および出前工作
みどりとふれあうフェスティバル(木場公園)、江東湾岸まつり(豊洲公園)、深川ウッド
フェス
- ・林野庁 7 階中央展示室において、ポスター等 PR 展示 (2023 年 1 月)

イ 第 14 回「木と合板」写真コンテスト

目 的：木材利用の促進は、林業の活性化だけではなく、地球温暖化防止にも貢献し
ています。そこで、写真コンテストを実施し、改めて身近にある木や合板等
と人との関わりに目を向けてもらうことを目的とする。

応募期間：2022 年 7 月 1 日 (金) ～8 月 31 日 (水)

結果発表：2022 年 10 月 31 日 (月)

審 査：審査委員会を設け、対象者を審査後、理事会において議決した。
なお、特別審査員としてプロカメラマン吉田繁氏に依頼した。

そ の 他：関連企業団体等に協賛を募った。

応募作品数： 応募総数 631 作品 (前期比 71 作品増)

協賛企業・団体： 38 社 52 口 (前期比 2 団体増、口数増減なし)

- ・大賞は、1 作品で木の賞状と商品券 (5 万円)
- ・優秀賞は、1 作品で木の賞状と商品券 (2 万円)
- ・建材賞は、1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)
- ・木質素材賞は、1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)
- ・ネイチャー賞は、1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)

- ・ライフ賞は、1作品で木の賞状と商品券（1万円）
- ・理事長特別賞は、1作品で木の賞状と商品券（5千円）
- ・特別審査委員賞は、1作品で木の賞状と商品券（5千円）
- ・佳作は、5作品で木の賞状と商品券（2千円）
- ・学生奨励賞は、3作品で木の賞状と図書カード（5千円）

ウ 「合板の日」記念式典（日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同事業）
新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

エ 第6回「全国合板1枚作品コンペ」

目 的：合板という材料をさらに魅力のあるものとして、活用する新たな可能性を見出すことを目的とする。

応募期間：2022年8月22日（月）～9月30日（金）

作品提出期間：2022年10月14日（火）～10月26日（水）

結果発表：2022年11月30日（水）

審 査：実行委員会・審査委員会を設け、対象者を審査後、理事会において議決した。

そ の 他：関連企業団体等に協賛を募った。

応募作品数：応募総数71作品

協賛企業・団体：5社

- ・グランプリは、1件で賞金30万円
- ・金賞（島根賞）は、1件で賞金10万円
- ・銀賞は、2件で賞金5万円
- ・銅賞は、6件で賞金3万円
- ・特別賞（木育賞）は、9件で賞金5千円＋記念品
- ・奨励賞は、19件で記念品

オ 団体見学の受け入れ

（教育機関）

江東区内小学校27校(全校45校の内)、江東区教育委員会小学校担当教諭、ステラキッズ、杉並区立永福小学校、北区立柳田小学校、中野区立南台小学校、千葉市立稲浜小学校、さいたま市立与野本町小学校、新宿区立新宿西戸山中学校、国分寺市立第四中学校、宝仙学園高等学校、福岡雙葉高等学校、長崎県立諫早高等学校、県立取手第二高等学校、実践学園高等学校、聖カタリナ学園高等学校、文京区向ヶ丘高等学校、都立青峰学園、東京大学、京都大学、日本大学、駒沢女子大学、武蔵野美術大学、東京電機大学、静岡県立農林環境専門職大学 他

（その他団体等）

林野庁、東京都農林水産振興財団、佐久森林認証協議会、新木場街づくり推進協議会、

(一社)合板 DL 普及協会、小海町北牧財産区 豊里林野水利保護組合、日本政策投資銀行、みずほ銀行、千葉みらい農業協同組合、川崎市民アカデミー、東京都地域婦人団体連盟、大館市役所、江東区文化観光ガイドの会、江東区障害センター、木材・合板関連企業等

カ ワークショップ

① 夏休み木工教室の開催 (参加者 子供 30 名、保護者 31 名)

各日午前・午後開催、各回定員 5 名、参加費 1,000 円

7/16 (土) コリントゲームをつくろう! (合計: 参加者 子供 7 名、保護者 7 名)

7/23 (土) ジグソーパズルをつくろう! (合計: 参加者 子供 10 名、保護者 11 名)

7/30 (土) ジグソーパズルをつくろう! (合計: 参加者 子供 6 名、保護者 6 名)

8/20 (土) コリントゲームをつくろう! (合計: 参加者 子供 7 名、保護者 7 名)

② ワンコイン工作教室の開催 (参加者: 子供 50 名、保護者 56 名)

各日午前・午後開催、各回定員 5 名、参加費 500 円

10/22 (土) シロフォンを作ろう! (参加者: 子供 11 名、保護者 11 名)

11/26 (土) クリスマスリースを作ろう! (参加者: 子供 10 名、保護者 11 名)

12/3 (土) 木のコロコロカレンダーを作ろう! (参加者: 子供 11 名、保護者 12 名)

1/28 (土) おみくじを作ろう! (参加者: 子供 11 名、保護者 10 名)

2/18 (土) ミニイスを作ろう! (参加者: 子供 7 名、保護者 12 名)

③ 自然観察会

11/26 (土) 明治神宮の森 (参加費: 無料、参加人数: 15 名、講師 7 名)

(3) 奨学・育英及び研究助成事業 (給付型)

① 奨学・育英事業

目的: 向学心がありながら家庭の経済的な理由により、修学が困難な学生に対し奨学援助を行い、社会に有用な人材を育成することを目的とする。

対象: 江東区、墨田区及び江戸川区の高等学校に在学する者

選定: 選定委員会を設け、対象者を選定後、理事会において議決した。

選考結果および金額: 8 名 (応募者 8 名) 360,000 円/人 合計 2,880,000 円

都立大江戸高等学校 2 名、 芝浦工業大学附属高等学校 2 名

都立本所高等学校 1 名、 都立葛西南高等学校 1 名

関東第一高等学校 2 名

② 研究助成事業

目的: 木材関連分野に関する研究を行っている将来有望な若手研究者 (大学院生) の育成のために、研究経費等の財政支援を行うことを目的とする。

対象: 35 歳以下の大学院に在籍する学生に限る。また、申請者は木材関連の学協会の

学生会員または正会員であることが望ましい。

選考：選考委員会を設け、対象者を選考後、理事会において議決した。

選考結果および金額：3名（応募者5名） 600,000円/人 合計1,800,000円

氏名	所属	研究課題名
A氏	東京大学 修士2年	通し貫面格子耐力壁の汎用性向上に関する研究
B氏	三重大学 修士2年	木材の水分吸脱着で誘起されるヒステリシスに対する木材主要構成成分の役割
C氏	東京大学 修士1年	「透明な紙」の高性能化に向けたセルロースナノファイバーの構造の最適化

2. 収益事業

(1) ウッドマスター講習会

① 基礎講座（オンライン）

【講習内容】①林業の基礎知識、②木材の基礎知識・合板などに使う樹種解説、③針葉樹と広葉樹の識別、④木材需給と貿易、⑤森林認証制度と合法木材、⑥木材流通の仕組み、⑦木質建材の基礎知識、⑧これからの木造建築、⑨木材乾燥の基礎知識、⑩接着剤の基礎知識、⑪腐朽菌・害虫による木材の劣化と耐久性、⑫温暖化防止と森林・林業・木材

【受講料】一般 33,000円/人、賛助会員 31,000円/人

	第1回	第2回
開催日	4月14日（木）・15日（金）	10月6日（木）・7日（金）
受講人数	67名	79名
受講料収入	2,123,000円	2,491,000円

② 中級講座（オンライン）

「合板について学んでみよう」

【講習内容】面材張り構面に関わる接合と性能、木質材料の特性から見た建築物の耐久性

【受講料】10,000円/人

開催日	11月22日（火）
受講人数	38名
受講料収入	380,000円

(2) ショップ販売

・木製品等の販売 他

収入：300,700円（前期比 285,220円増）

以上